

再び町民諸氏に訴ふ

三菱會社遂に血迷ふ

親愛なる町民諸氏!!!

私共は茲に再び諸氏に訴ふの已むなきに至つたことを悲しみませぬ。既に御承知の如く、八月三十一日三菱會社の配布せし「附近町民各位に申し上げます」と云ふペラの殆んど虚構にして町民諸氏を偽瞞するも甚だしきにも拘らず、其の後、私共の正々堂々秩序整然たる罷業振りに、ゴツを賣やしたか、アハテ、ふためにたか、遂に彼三國工場長は血迷ひ出しました。會社は八月二十七日付を以て、彼が今回解雇するを稱しつゝある社宅居住者に對し退去を強要し刺へ水道、電氣をも止めんとし來りました。

此の社宅居住者は相當の永い年月を會社に奉公し、毎月宅料金を欠かさず拂ひ來つた者で中には十四年間も柔順に立働いて來た者もありませぬ。毎月一定の宅料を會社が職工より受領する以上、當に會社對職工との雇傭契約締結以外に家主と借家人との民法上(六〇一、六〇二、六〇三、六〇四)の賃貸借權が構成せられて居りますが、會社には法學士の肩書を持つた役員が多數使はれて居てこんな法律上の問題に付いては正當か又は違法かといふ事は充分知つて居る筈です。

その違法たる事を知らなければ兎も角、詳しく知り抜いて、敢て違法を犯し法の神聖を汚すといふ事は實に許すべからざる我日本帝國の安寧秩序を亂す國賊に等しき者なりと言はねばなりませぬ。又、三菱會社は斯くの如き國家の法を犯しつゝあるにも拘らず九月一日夕刻に至り合宿所居住者に對し「明朝より出勤すべし」出勤せざる場合は、即刻合宿所を退去すべし」といふ極悪非道な行動に出で來つたのであります。

元來會社の合宿所は今日迄居住者間の問題となつて居るものでして、その粗食の点や余りに苛酷なる規則の点などは恰も此の世乍らの生き地獄と言はれる炭坑の監獄部屋に等しきものであります。而も此の監獄部屋に居住者の大多數は皆様の御存知の如く甘才足らずの纖弱な少年諸君なので此んな可憐な少年諸君に「出勤せねば今夜限り退去せよ」とはなんたる惨忍なやり方なのでせう、會社は合宿居住者が、合宿を迫り出されれば、忽ち住むに家なく、喰ふに食なく疲勞困憊の極に陥るさうといふのは丁度相手をおどかして居る居住者の弱腰に突け込んで、飯も喰はさぬ、雨露も凌がさす段には、さすがの少年達も口惜し涙に暮れ乍ら「僕等は今まで會社や工場長を神か佛の様に扱つてゐたのに、如何に會社の癪にさわるとはいへ、家もなく、忽ち食ふ米代もないことを知りこんなひどい目にはあはさうとする。僕等は會社の温情主義の正体がハッキリ分つた以上、たとへ石に噛り付いても爭議團と行動を共にする」と。何んといふ悲愴可憐な叫びでせうか。

親愛なる町民諸氏!!!

斯くの如く血迷ひ、殆んど氣の狂ひかけた會社の盲目的脅迫は益々その猛威を振ひ來り、卑怯千万にも従業員五千の家族の糧を奪ひ老ひたる父母幼き乳兒に至るまで餓死さうとするに至りました。從來會社に於ては従業員に對し、精勤者には白米の傳票を出し、出勤不良の者には現金にて拂下げておましたが私共は何等の通告なく、何等の話し合ひもなくその拂下げを禁じて終ひました、私共と會社との今回の争議は要する所労働條件の改善の爲めであり断じて任意退社等の問題でない限り立派に私共は三菱製紙株式會社高砂工場従業員であります。

故に慣例による現金を以て拂下げよと恥を忍んで歎願致しました、これは申す迄もなく今回の舉は、私共の要求する所の當然さと、會社の冷血無情のやり方を會社自身に内省せしむるがための手段及び私共の決死的歎願の意志表示をなすために欠勤して居るのであります、さすれば白米拂下げの規程による出勤不良に該當するのであります。

然るに何所迄血迷ひたるか、會社は此の私共の合理合法的な歎願をも拒絶し愈々その脅迫の魔手を逞ふるのであります。

私共は此の争議の當事者である以上「たとへ餓死しても」といふ覺悟をして居りますが、何んにも事情を知らぬ家族の者に何の罪科がありませう、米を止めるといふ事は私共の家族を餓に死させますも同然です。「米が止まつた」と聞いた家族は皆會社の鬼畜に等しき暴狀に口惜し涙に暮れて居ります。假りに此ストライキが私共に罪ありとして骨を砕かれ身を粉にせられても決して辭する者ではありません、私共の家族にまでも餓に死させし何たる極悪非道な仕打でせうか「罪九族に及ぶ」とはメツト昔の野蠻時代の事で、大正の有難き御代に於て断じて許さるゝものでないのです。實に會社の氣狂ひ染みたる此の惨忍無道には私共自身の血汐は逆上せずには居られませぬ。

親愛なる町民諸氏!!!

私共の罷業以來の行動に就いては諸氏が親しく御覽になつた通り秩序整然、その言ふ所飽く迄正々その行ふ所飽く迄堂々たるものであります。

三菱會社のバルナザンの、國賊的戦法に對し私共は天地に俯仰一点恥じざる戦法を以て應戰して居ます。

親愛なる町民諸氏!!!

私共は日本帝國の臣民にして、畏れ多くも一天万乘大君の赤子たる以上、彼三菱の反省する迄正義十字軍の進撃を止めざることを諸君の前に固く誓ふのであります。

今や敵陣万策盡き周章狼狽の極に達し遂に潰滅總退却のごたん場に陥り、味方は息をもつかせぬ迫撃戦に移つて居ります時に當り、どうか尙一層の御後援を幾重にも御依頼申し上げます。

三菱製紙工友會争議團